

海の恵みに育まれて…

鹿島市沿岸の有明海は、湾の奥部に位置しており、筑後川や六角川、塩田川といった多くの河川から流れ込んだ大量の土砂が河口部に堆積し、広大な泥質の干潟を形成しています。

ムツゴロウをはじめとする干潟特有の生き物などが多く生息しており、他では類を見ない独特な世界を生み出しています。

また、古くから沿岸の人々は有明海の恵みを受けており、目の前の海から採れた産物を「まえうみ前海もん」と呼んでいます。有明海は身近な海として人々と生物が幾久しく共生しています。



■ズグロカモメ

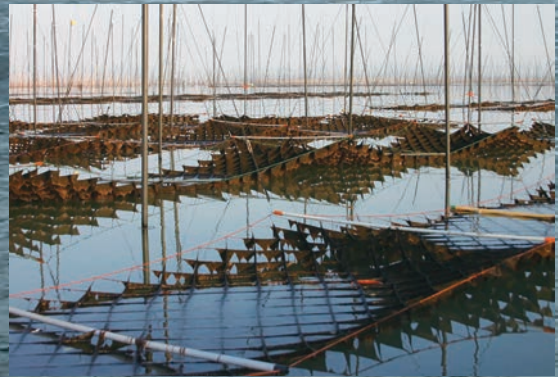


■クロツラヘラサギ



■ツクシガモ

鹿島市の海岸に広がる干潟は、シギ・チドリ類、ツクシガモやズグロカモメ等の貴重な渡り鳥の重要渡来地になっており、その一部は国際的なネットワークに登録されています。



■海苔の養殖

日本一の海苔として全国にその名を知られる有明海の家産。有明海の最大6mにも及ぶ干満の差を利用してつくられる海苔が極上の逸品です。